

5宗教団体が 宗派超え慰霊

読経や神式で60人

県内の宗教団体の連携組織「人道援助宗教学NGOネットワーク(RNN)」(永宗幸信委員長)は北区で合同慰霊祭を行った。昨年4月に続いて2回目。真言宗、金光教、立正佼成会、天台宗、黒住教の5宗教団体が参加した。

RNNは、震災発生後に国際医療救済団体「AMDA」(本部・北区)と協力して被災地に僧侶を派遣した。遺体安置所で読経をして死者を弔った。この日の慰霊祭には約60人が参加し、AMDAの



東日本大震災の発生時刻に合わせて黙とうをする宗教関係者たち＝北区で

菅波茂代表が「遺体安置所での読経は現地被災者から感謝された。これからも一緒に活動させてほしい」とあいさつした。

その後、永宗委員長

が「心を一つにして被災地の復興を願いながら、祈りましょう」と呼びかけた。参加者全員で黙とうした後、読経や神式で祈った。